

会 議 要 旨

会議名	第 5 回町田市薬師池公園地域魅力向上計画懇談会	
開催日時	2014 年 4 月 18 日〔金〕午前 10 時 00 分～午前 12 時 00 分（会議）	
開催場所	町田市役所 10-2 会議室	
出席者	委員	池邊 このみ（会長）、秋山 綾、藤根 義信、吉田 敦、 吉田 隆、間仁田 修、岩澤 正、齊藤 喬、清水 滉常 （9 名、敬称略）
	未来づくりプロジェクト	企画政策課 3 名、障がい福祉課 2 名、農業振興課 1 名、道 路管理課 1 名、産業観光課 1 名
	事務局	公園管理担当課長、公園緑地課 5 名
公開・非公開	公開	
傍聴人数	0 名	
議題	市民意見の反映について	
次第	1. 開会挨拶 2. 事務連絡 3. 市民意見の反映について 4. 次回の日程確認	
資料	1. 第 5 回懇談会 次第 2. 第 4 回懇談会 会議要旨 3. 資料 1 町田市薬師池公園地域魅力向上計画における市民意見の反映について 4. 参考資料 2（仮称）七国・薬師池地域魅力向上計画（案）市民意見公募実施結果	

1. 開催挨拶

- ・会長より挨拶
- ・事務局より委員の変更を報告。町田市観光コンベンション協会徳尾氏から同協会の間仁田氏に変更

2. 事務連絡

- ・事務局より会議の公開について報告
- ・事務局より配布物の確認
- ・議題の説明

3. 市民意見の反映について

（1）市民意見について

（事務局）

- ・市民意見については、26 名から全部で 109 件の意見があった。

(会長)

- ・ 件数は多少少ないように思う。市民の皆さまにもっと興味を持ってほしいという気持ちがある反面、逆にそれほど強い反対がないとも捉えることができる。委員の皆さまのご協力を得てまとめ挙げた、その結果ではないかと受け止めている。

(2) 自然や景観の保護について

(委員)

- ・ 資料1のNo.7やNo.15にもあるが、物産所を設置し人を集客するのではなく、もったこの地域の資源や昔からの歴史などを多くの方に知ってもらいたい。その辺が現在の計画素案で的確に伝わっているのか若干気になった。
- ・ 資料1計画素案の27ページの民権の森や緑地保全地域に「自然観察会」を追記しているが、資料1のNo.7の意見をくださった方はいわゆる観察会をしてくれというわけではなく、この地域らしい景観が損なわれないようにするということだと思う。

(委員)

- ・ 七国山は風致地区として東京都で最大の125ヘクタールの地区であり、東京都の財産である。住民や地域の人は観光化には慎重であり、自然が壊れるのではないかと心配している。
- ・ 町田市の計画で生物多様性について議論が進んでいるが、本計画の策定について生物多様性の観点を入れないのか。

(会長)

- ・ 生物多様性については計画中ということもあり、本計画の策定に間に合うかはわからないが、適宜事務局で調整をしてほしい。

(3) フードコートについて

(委員)

- ・ 資料1計画素案の17ページに「地域に残された貴重なみどり、里山景観や特徴的な眺望を生かしつつ」と追記いただいているのはいいが、同26ページにある「フードコート」という表現がよいかどうか気になった。

(会長)

- ・ フードコートについては、景色や自然を重視しているわけではなく、たくさんのお店があって食べられるところというイメージを持っている市民もいるのではないかと。大規模店舗にあるようなものは決していい雰囲気ではない。できれば外の景色や自然が見えるなど、従来のようなフードコートにはしたくない。

(委員)

- ・ フードコートという表現は、茶店、茶室などに変更してはどうか。

(会長)

- ・ 風致ということもあるので情緒がある名前にしてもいいと思う。
- ・ フードコートだと一定のマイナスのイメージをもたれると困るので、我々の目指す観光は、混雑したところではなく今のポテンシャルを最大限生かしてよりたくさんの人に楽しんで

親しんでもらいたいということである。風致や生態系もなるべく生かしたということ盛り込んでもらいたい。具体的な文言の提示は難しいが、事務局と話をして皆さんにご同意いただけるような内容にしていきたい。

(4) 薬師池公園内の生演奏について

(委員)

- ・ 資料1 計画素案の27ページの薬師池公園に生演奏を追記しているが、単なる騒音にならないよう慎重に検討が必要と考える。生演奏の際、周囲にどのような影響があるのかも検討が必要ではないか。

(事務局)

- ・ 観蓮会で行っている尺八の生演奏のイメージを想定しており、アンプで増幅する楽器は想定していない。

(会長)

- ・ 生演奏について、事務局の想定を注意書きとして追記すること。

(5) 交通アクセスについて

(委員)

- ・ 資料1のNo.1にある交通アクセスの充実について、センターハウスを設置すると今以上に渋滞するのではないか。鎌倉街道の拡幅のタイミングを見計らい、計画を立案してほしい。「公共交通の利用の啓発」という簡単な問題ではない。

(事務局)

- ・ よりよい交通アクセスが実現できるよう東京都とも協議をして進めていきたい。

(会長)

- ・ 公共交通の利用の啓発のために、休日に臨時バスを増発することは難しいか。

(事務局)

- ・ 個別の具体的な中身の検討はこれから。さまざまな検討の余地はあると思う。

(会長)

- ・ 人が集まれば混雑する。混雑すれば環境問題になるし苦情にもなる。それも含め、事務局には東京都と協議を進めてほしい。

(6) 観光という表現について

(委員)

- ・ この地域で生活している方々に観光地化というイメージを拭い去ることは難しいと思う。

(会長)

- ・ 資料1 計画素案17ページにある基本コンセプトに「観光の拠点」とあり、観光という表現があるだけで混雑やゴミを捨てるなど阻害要因を連想させる。観光という表現ははずせないか。

(事務局)

- ・市としてもいかに町田市の魅力を伝えていくかに重点を置いている。薬師池地域に行くと本来の自然や里山があることを市としては宣伝したい。そこに観光という表現を使うかどうかはぜひとも意見をいただきたい。

(会長)

- ・市民意見の結果を見て一番に思ったのが観光という表現をどうにかできないかということである。観光では風致地区の魅力からずれてしまうのではないか。観光という言葉にあまりいいイメージがなく、もう少しいい言葉があればと思う。たとえば、風致を生かした言葉を加えて、単なるテーマパークではないことをもう少し明言してはどうか。

(委員)

- ・風致や里山など、観光の前に言葉を追加してはどうか。たとえば、風致を生かした観光。
- ・原点に返って、魅力の拠点としてはどうか。キーワードとして魅力もあると思う。

(7) 七つの国の名称について

(委員)

- ・第二回の懇談会で議論した七つの国の名称について、市の方向は怎么样了か。市民意見の結果を見てもあまり賛同の意見はないように思う。

(事務局)

- ・七つの国の名称、全体の統一名称ともに検討は進んでいない。ご議論いただいた結果を踏まえ、今年度の早い時期に検討を詰めていきたい。
- ・市民意見の結果としては、参考資料2の項1施設全般のNo.14で、ピンとこない、しっくりこないなどの意見をいただいている状況である。

(会長)

- ・名称についてはあったほうがよいと思うが、イメージにフィットするところと、しないところがある。

(委員)

- ・七国山から七つの国に結びつけるのはいいが、その後がこじつけのように見える。

(会長)

- ・自然のものを国の名前にしているところはいいと思う。

(委員)

- ・高齢者にとっては、町田えびね苑が風だろうと、町田ぼたん園が月だろうと関係ないと思う。子どもたちの今後の将来性を考えて、テーマ的な考えで付けていると思うが、あまり意味がないのではないか。

(会長)

- ・町田ぼたん園の月の国、町田リス園の光の国、町田えびね苑の風の国はしっくりこない。町田ダリア園の火の国も違和感がある。ダリアのイメージから太陽の陽を取り、陽の国(ひのくに)にしてもいいかもしれない。

(委員)

- ・ 町田の観光マップでは七国山は定着している。七国山は昔七つの国が見えたということもあり、歴史的に重要な山である。七つの国の名称については非常に慎重にならないといけない。

(会長)

- ・ 町田リス園の光の国については、命や生物多様性を考えたほうが良い名称につながるかもしれない。

(委員)

- ・ 町田ぼたん園の月の国については、足湯を設置する予定であれば、湯の国にしてみてもどうか。

(会長)

- ・ 湯の国については、ボタンを大事にしている方からするとどうかと思う。高貴なイメージもあるし、妖艶な花なので。
- ・ 本懇談会でじっくりこないものを一般市民に出してもじっくりこないと言われてしまうと思う。

(委員)

- ・ 月、風、光、火、木など自然そのものであり、仮に当てはめるとしても定着しないのではないか。こじつけやテーマパークのように取られても仕方がないと思う。

(会長)

- ・ 懇談会もかなり回数も重ねているので、今からすべてを変えていくはちょっと難しいと思うし、また、最終的に事業として動かすときに再度考えるかもしれないので、今のところは委員が違和感を抱くところだけを直していく形で進めたい。

(委員)

- ・ 町田えびね苑にアスレチックを設置するのであれば風の国より野の国はどうか。

(8) えびねの移植について

(委員)

- ・ えびねはどこに移植するのか。

(事務局)

- ・ 計画素案の中では（仮）薬師池北緑地の土の国に移植する計画である。昨年度に土壤調査を行い、今年度検討していく。

(委員)

- ・ えびねの移植は難しいと思う。そのままがいいのではないか。

(事務局)

- ・ えびねの移植は比較的容易である。植える先の環境がそれに適しているかどうかであり、環境が大事となる。移植先は（仮）薬師池北緑地の全域ではなく区域内の一部分で想定している。

(委員)

- ・ 計画素案を見ると風の国は、えびねが移植されてなくなる一方、山野草などが観察できる場所となるのか。

(事務局)

- ・ 現在の町田えびね苑の全部を改変するわけではなく、えびねを動かして何か出来ないかと考えている。

(委員)

- ・ 町田えびね苑で計画されているフォレストアドベンチャー施設について、野津田公園にも設置すると聞いたことがあるが、えびねを動かしてまでここに設置するのはどうかと思う。

(会長)

- ・ 参考資料2の項4 えびね苑のNo.1に、「専門家の意見などを聴き慎重に判断していただきたい」や「野津田公園にも計画しているのにあえて薬師池周辺に作る必要性があるのか」という意見がある。また、同No.2にはサイハイランの意見もある。これについて事務局はどう考えているのか。

(事務局)

- ・ 野津田公園については、本公園の基本計画に木製遊具等のアスレチックの設置を盛り込む予定である。遊具については必要ないという意見もあると思うが、野津田公園で過去に撤去した木製遊具について、早く元に戻して欲しくないかという要望もたくさんあった。賛否両論あると思うが、需要もあるのも事実。
- ・ えびねについては、薬師池北緑地のほうがえびねをより効果的に印象付けられるのではないかと考えている。

(会長)

- ・ えびねの移植については、町田えびね苑がより市街地に近いところに位置している現状や、今後近辺にセンターハウスや駐車場ができることを考えると、町田ぼたん園や七国山の付近のほうが自然を保全しやすいといった観点をいれてみてはどうか。今のままでは子どもたちの施設を設置したいからえびねを動かそうとしているように受け取る方が出てくる。そうではなく、えびねを広げ、尊重して、そのために適地選定をしているという形にしてはどうか。

(企画政策課)

- ・ 補足として、町田えびね苑は開苑期間が限られているため、他の期間の活用が難しく、また、町田リス園に近いこともあり、子どものための施設の連携という中でアスレチックという議論が出た。さらに、えびねをいかに市民に知ってもらうかを考えたときに、町田ぼたん園などのついでに回遊してもらってもいいのではないかという意見もあり、候補地として(仮)薬師池北緑地を選んでいる。

(委員)

- ・ 町田えびね苑は常緑樹が生えている。フォレストアドベンチャー施設を設置するのであれば、常緑樹の暗いところよりも落葉樹の明るいところがいいと思う。ただし木を切って落葉樹を入れるというのもどうかと思う。

- ・子どもが遊ぶところがほしいという簡単な考えではなく、たとえばお金を取るのかなどの運営もあるし、危険性もある、そもそも子どもがちゃんと来るのかを検討してほしい。

(会長)

- ・計画素案の考え方では既存の自然を活用したということなので、伐採するということはないと思う。
- ・えびねについてもしかるべき場所、より楽しんでもらえる場所ということなので、その辺を十分に市民に理解してもらえるようにしてもらいたい。

(9) 2020年東京オリンピック・パラリンピックとの関連について

(委員)

- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えて、多摩地区にキャンプ地を招致するという話があり町田市も立候補するという話を聞くが、それとの関連について議論をしていないがどう考えるのか。

(企画政策課)

- ・市の姿勢としてはキャンプ地の招致に取り組んでいく。ただ、本件とは直接には関連してこないと考えている。

(会長)

- ・外国人がジョギングする際にえびねやダリアなどこの風景そのものがないのではないかと。東京にありながら町田はいいところだねと思う。そういうことを意識してもいいのではないかと思う。

(委員)

- ・外国人への対応を考えたほうがよいと思ったが、そこについてはどうするか。

(事務局)

- ・ここでお答えできる回答はないが、オリンピックで直接影響されることはないにしても、魅力を発信するいい機会ではあるので、外国の方へのおもてなしについても全庁で協議していきたい。

(会長)

- ・展望のよいところに、昔の〇〇の国の云われが英語などともに表記され、そこから見た浮世絵なども展示されるといいかもしれない。また、フットパスなどの看板にジョギングコースの英語表記などがあったりしてもよいと思う。昔から美しい景観があり、今も市民や政策によって守られてきたことはアピールすべき点だと思う。

4. 次回の日程等

- ・第六回懇談会は、2014年5月23日(金)午前10時からの予定。

以上